

2020/1/20 第2回MD-DSC機械学習コンペティション
[アイデア賞&インプリメント賞]
審査・表彰の手続き

TMDU神沼英里

手続きまとめ

準備事項	時間	担当者と役割
事前準備	12:00-13:30	(MDDSC) 候補作品ポスタ用意。資料配布
連携機関連絡会議	13:30-14:30	(全体) 各賞の作品決定 (鈴木様) 賞毎の講評担当者 (1 作品 1 機関) を決める
研究会の開始前	14:30-14:40	(受講生 + 研究会参加学生) ピアレビュー賞の投票シールを、候補作品ポスタに貼る (MDDSC) 賞状の印刷
MDDSC研究会	15:30-16:05	アイデア賞 1～3 位、インプリメント賞 1～3 位、 ピアレビュー賞 1 件 [1] (神沼) プロセス紹介 ↓ 受賞作品毎に [2] (田中先生) 受賞者を発表 + 賞状を授与 [3] (受賞者 + 講評者) ①受賞者が説明②講評者が講評 ↓ 最後に [4] (鈴木様) 講評まとめ



2018年度第一回結果 (アイデア賞に16件、インプリメント賞1件)

		受賞作品タイトル	受賞者
アイデア賞	第1位	赤ちゃんの泣き声翻訳機	銀だこSSチーム（佐久間雅幸、佐藤友香）
	第2位	仮面様顔貌の素顔を見抜くモデル	吉岡耕太郎
	第3位	自然災害時のより効率的なレスキュー部隊、救援物資の、輸送方法の予測モデル	チームレスキュー（佐々木俊太、淀康秀）
	特別賞	運転中突発事故判定モデル	チーム418(武藤貴史、佐々木隆之)
	特別賞	毒きのか判別モデル	グループ1チーム（板倉聡志、小野擁子）
インプリメント賞	特別賞	アンサンブル学習による認知症患者の識別タスク	安田永智
ピアレビュー賞		毒きのか判別モデル	グループ1チーム（板倉聡志、小野擁子）

○アイデア賞＋インプリメント賞＝連携機関企業の審査員が事前投票

○ピアレビュー賞＝受講生が現場で投票



2019年応募作品： アイデア賞に13件、インプリメント賞4件

番号	応募作品タイトル（アイデア賞）	応募チーム名	応募者名
A1	相手に「Yes!」と言わせるにのいの研究	3人劇団	
A2	芸能人の薬物使用有無を判定	東京西	
A3	心身の健康状態予測モデル	いしあだ	
A4	痛みの見える化	丸ノ内線	
A5	診察室を出た時の顔表情で言い足りなかったことを推察するAI	いつまでもついてまわる	
A6	行動パターンに基づく育児放棄（共喰い）マウス判別モデル	チームMac好き	
A7	口腔内状態からガン発生リスク判別モデル	チームなげなげ	
A8	Never腰痛！	チームあんきも	
A9	Never褥瘡！	チームあんきも	
A10	喝！	チームあんきも	
A11	ショックバイタルと患者の既往から最初の一手を決める	個人応募	
A12	患者の「不安」を感知して家族へ連絡	個人応募	
A13	年間150億円以上の鳥獣被害 ジビエ肉を安全においしく消費するための加熱判別モデル	個人応募	



2019年応募作品(続)

番号	応募作品タイトル (インプリメント賞)	応募者	プログラミング言語
M1	痛みを予測し異変をキャッチ		python
M2	インフルエンザ流行に一番注意すべき地域を予測		R
M3	大型都市圏に所属/非所属の各官庁所在地の人口増減予測		python
M4	協会けんぽの診療行為別SCRによる医療費の予測モデル		R